



発行/こおげ建設(株)
八頭郡八頭町宮谷200番地2
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668
E-mail: info@koge.co.jp
<http://www.koge.co.jp>

Boo Foo Woo
Vol. 87
2019. 1. 31 Thu

人が家が健康になる
健康空気循環システム



高気密 高断熱
ファースの家

Never give up
がんばろう日本!
つなげる想い・つながる希望



「ファースの家」の完成見学会を開催しました

完成見学会を開催しました

『ファースの家』の素晴らしさを、みなさんにもっと知って頂きたい！

「ファースの家」とは

住む人が健康で快適に過ごすために最適な温熱環境を意識した住宅で、冬は暖かく、夏は涼しく、心地よい湿度を保つために大切な、温度・湿度・空気清浄・空気の流れ、の絶妙なバランスをコントロールする独自の仕組みがあります。

さらに、気密・断熱性能が高い高いため外気の影響を受けず、調整した環境をしっかりとキープ。少ないエネルギーで快適に暮らせる、省エネ性能にも優れています。

住む人を朗らかで健康に、新築のときと同じ快適さのままで長く安心して住める家を実現し、環境にも配慮した高機能な健康住宅です。

1. 「空気清浄」

◎きれいな空気をつくる、

しっかりとした換気機能。◎「熱交換式換気扇」により、外気を天井裏から室温に近づけて取り入れ、壁内通気層を上昇しながら、グリーンな空気が家全体を循環します。加えて床下に敷設した自然素材の「ファースシリカ」がホルムアルデヒドやタバコの臭い、有機系ガスの汚染物質を吸着しシックハウスなどの問題を低減。



2. 「調湿機能」

◎健康と家の構造体を守る、

耐久性・調湿機能◎健康空気循環システム「AIキット」と床下に敷設した空気清浄調湿剤「ファースシリカ」の2つの組み合わせにより湿度をコントロール。病原菌が発生しにくい湿度を保ちます。空気中の湿度が高い時には水分をため込み乾燥時には排出する快適な状態を常に維持します。家をはじめじめしないことで構造体の腐食も防ぎます。



3. 「高気密・高断熱」

◎冬は暖かく夏は涼しく

過ごすための、高気密・高断熱◎まるで魔法瓶のように室内温度をキープするのはもちろん「ファースの家」は、壁の中の断熱材が経年劣化しにくく、外壁と接する柱などの木材からの熱損失を軽減する方法として、内外ダブル断熱を採用。外側は「ファースボードK」内側は現場発泡スプレー方式の断熱材「エアクララ」で、気密を断熱を同時に実現します。また、断熱樹脂サッシ+アルゴンガス入り複層ガラスの「専用窓」を採用し、窓からの熱損失対策も万全です。



4. 「地震に強い」

◎地震対策も万全。

安心して長く住める◎「ファースの家」は、木造軸工法



5. 「省エネ・エコ」

◎環境や家計にうれしい◎

湿度コントロールがしやすい◎エネルギー効率が良い、燃焼ガスが発生しない、二酸化炭素の排出を抑えるなど、機能面・環境面ともに多彩なメリットがある「エコ」電化仕様を採用しています。気密・断熱に優れている「ファース」の家なら、適温適湿でさわやかな、健康空気を逃さず、エコ電力ならでのムラのない暖かさや涼しさがすみずみまでゆきときます。空調（エアコン）や給湯（エコキュート）には、空気中の熱を有効活用できるヒートポンプ機器を採用しています。



6. 「冷暖房のランニングコスト」

◎効率のよいエアコン冷暖房◎

「ファースの家」は、天井裏に設置したエアコンで家ぜんたいの冷暖房を行います。高気密高断熱の構造でしっかりと守られた建物の壁内に設けた通気層を通り抜ける空気の流れをつくることにより、適湿のまま家じゅうをめぐるります。冷暖房を1台の機器で賄え、少ないエネルギーを無駄なく効率的に使える「コストパフォーマンスに優れたシステム」です。温熱環境の調整に費やしていた時間のコストも削減できます。



どん太くんのちょっといい話

もうすぐ節分 恵方巻を食べる？

「恵方巻」の具材は、七福神にちなんで7種類入れるのが基本だそうです。代表的な具材は、かんぴょうしいたけきゅうりエビ・うなぎ・桜でんぶ・玉子焼きなど。最近ではサーモンやマグロなど、魚介などを入れた恵方巻も増えています。具の内容はどうぞであれ7種類。

食べる時間帯は特にきまりはありませんが、基本的には夜だと言われています。豆まきで家の中を清めたあとに、福を呼び込むために「恵方巻」を食べるのがおすすめです！

食べ方としては

1. 恵方を向いて食べる。
(今年の吉方は東北東)
2. 黙って食べる。
3. 一気に食べる。

一本丸ごと食べる事で幸福や、商売繁盛の運気を一気にいただく、ということの意味している事が大きいようです。

切っちはいけない理由は、縁を切らない意味だそうです。

